

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月10日
09時26分29秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005020000	シティプロモーション推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00238	まち案内事業							
章	07	活力あふれにぎわいのあるまちづくり							
節	01	地域の特性を生かした産業の振興							
細節	00								
予算事業	10645	01	07	01	02	02	04	01	まち案内事業（商工振興費）
所属長	原山 菜子				担当者（内線）永井 達也（2253）				
根拠法令等	吹田市まち案内事業補助金交付要領								
事業開始年度	平成19年度	直近の改正	平成28年度						
改正内容	機構改革による改正								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他			
対象	まち案内活動			
目標	まち案内活動の活性化			
結果	市内外からの来訪者に市の魅力を発信することで、まちの再発見を促し、市民が市への愛着を深めることができる。			
事業概要	市内観光資源の案内を行うまち案内人の活動を補助する			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施			
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①		
		委託先②		
		委託先③		
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容		
		交付先①	特定非営利活動法人吹田歴史文化まちづくり	
交付先②				
<input type="checkbox"/> その他	内容			

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	263	263	263	263	263
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	783	795
総事業費(A+B)	1,080	1,053	1,069	1,046	1,058
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	1,080	1,053	1,069	1,046	1,058
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,080	1,053	1,069	1,046	1,058
財源計(C+D)	1,080	1,053	1,069	1,046	1,058

所属	シティプロモーション推進室
事務事業番号	00238

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	観光講座の受講者数	人	目標値	43.00	32.00	43.00
			実績値	32.00	43.00	
			達成度(%)	74.40	134.40	
目標値の積算方法	前年度実績値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	32.91	24.33	
			一般財源(千円)	32.91	24.33	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	まち案内活動の年間実施回数	回	目標値	62.00	62.00	52.00
			実績値	60.00	45.00	
			達成度(%)	96.80	72.60	
目標値の積算方法	過去2年間の実績値の平均値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	17.55	23.24	
			一般財源(千円)	17.55	23.24	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	まち案内人の登録者数	人	目標値	35.00	35.00	35.00
			実績値	27.00	27.00	
			達成度(%)	77.10	77.10	
目標値の積算方法	まち案内活動の年間実施回数を維持できる人数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	39.00	38.74	
			一般財源(千円)	39.00	38.74	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	まち案内活動の参加者数	人	目標値	1,950.00	1,827.00	1,165.00
			実績値	1,344.00	987.00	
			達成度(%)	68.90	54.00	
目標値の積算方法	過去2年間の実績値の平均値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.78	1.06	
			一般財源(千円)	0.78	1.06	

(3) 指標で示するのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	まち案内活動については、実際にまちを歩いてその魅力に触れるというものであり、本市が取り組むシティプロモーション事業が目指す自らの住むまちに対しての誇りや愛着を醸成する観点からも本事業を継続して実施する必要性は高いものと考えられる。 今後も観光企画推進事業や情報発信プラザ事業とも相乗効果をもたらすような事業の在り方について、引き続き検討を重ねていく必要がある。

事務事業分析シート

所属名	シティプロモーション推進室	事業名	まち案内事業	事業区分	その他
事務事業番号	00238				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	シティプロモーション推進室	事務事業番号	00238
-----	---------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

実際にまちを歩くことにより、その土地の魅力に触れることができることから、本市が取り組むシティプロモーション事業が目指す自らの住むまちに対しての誇りや愛着の醸成に大きく寄与しているものと考えられる。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>まち案内人活動については、市内観光資源の案内を主としているが、参加者数の拡大を図るため、吹田にぎわい観光協会と連携し、万博周辺エリアの新たなコース開発等の検討により、満足度の向上と、更なる内容の充実につながるように継続した補助を実施していく。 また、まち案内人の高齢化により定期的な入れ替わりがある中で、最低35人以上のまち案内人を確保していかなければならず、育成の取組みが必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
11時31分43秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005020000	シティプロモーション推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00239	吹田まつり補助事業							
章	02	市民自治が育む自立のまちづくり							
節	01	多様なコミュニティ活動の充実による住みよいまちづくり							
細節	10	コミュニティ活動の充実							
予算事業	10646	01	07	01	02	02	04	02	吹田まつり補助事業（商工振興費）
所属長	原山 葉子				担当者（内線）長江 慎也（2254）				
根拠法令等	吹田まつり運営事業補助金交付要綱								
事業開始年度	昭和45年度	直近の改正	平成28年度						
改正内容	機構改革による改正								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	市民		
目標	吹田のまちづくりと自治意識の高揚を目的として開催される吹田まつりの充実を図る。		
結果	まつりの開催により、市民相互の交流と親睦、コミュニティ活動や市内商工業の発展に寄与することを目指す。		
事業概要	7月29日（土）に前夜祭を江坂公園、千里南公園の2会場で、翌30日（日）に本祭りをJR吹田駅周辺一帯で開催。平成29年度においては、本祭りでの参加型水かけイベント「吹田スプラッシュパーティー」やプログラムの冊子化等、新しい取組みを実施。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①		吹田まつり実行委員会	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	12,600	12,600	12,600	12,600	12,600
人件費職員数(人)	1.70	1.70	2.00	2.50	3.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	13,889	13,430	16,104	20,130	23,835
総事業費(A+B)	26,489	26,030	28,704	32,730	36,435
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	26,489	26,030	28,704	32,730	36,435
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	26,489	26,030	28,704	32,730	36,435
財源計(G+D)	26,489	26,030	28,704	32,730	36,435

所属	シティプロモーション推進室
事務事業番号	00239

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	観客動員数	人	目標値	350,000.00	50,000.00	48,000.00
			実績値	355,000.00	48,000.00	
			達成度(%)	101.40	96.00	
目標値の積算方法	前年度実績値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.07	0.68	
			一般財源(千円)	0.07	0.68	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	協賛、協力団体数	件(延べ)	目標値	471.00	463.00	535.00
			実績値	463.00	535.00	
			達成度(%)	98.30	115.60	
目標値の積算方法	前年度実績値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	56.22	61.18	
			一般財源(千円)	56.22	61.18	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
市民主体のまつりとなるよう企画、運営する実行委員会を様々な団体から選出し構成している。また、市内大学の学生による学生部会にまつりの一部を任せることで吹田市への愛着に寄与できている。	達成状況 商工会議所や自治会等、市内各種団体からの意見を取り入れることで、市民に近いまつりが実施できている。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	吹田まつりの企画運営は、市内各種団体により構成される吹田まつり実行委員会が行っていることで、市全体で一体感をもって実施している。財源も市からの補助金だけでなく、実行委員が協賛金を集めて実施しているところであり、市内最大のイベントとして継続させるとともに、市民のみならず観光客の集客も図れるようPRすることが必要と考える。 平成29年度においては、本祭りでの参加型水かけイベント「吹田スプラッシュパーティー」やプログラムの冊子化等、新しい取組を実施し、多くの来場者で賑わいを見せた。 来年の50周年に向け、企画内容の充実を図り、さらに市民のまつりとなるように取組を進めていく。

事務事業分析シート

所属名	シティプロモーション推進室	事業名	吹田まつり補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00239				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 e. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	74	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	シティプロモーション推進室	事務事業番号	00239
-----	---------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成29年度の第48回吹田まつりでは、吹田スプラッシュパーティーやプログラムの冊子化等、新しい取り組みを実施し、多くの来場者で賑わいを見せた。
来年度は50回の節目を迎えるため、市民ニーズを汲んだ企画を検討していく必要がある。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本年開催49回を迎え、吹田の一大イベントとしてしっかり根付いた事業となっている。市内各種団体により構成される吹田まつり実行委員会が実施主体となり、市民団体、企業、商店街の協力のもと企画運営を担うことで、市全体の一体感が生まれているものと考えている。今後も持続可能な吹田まつりとなるように、事業経費の精査、事務局運営等についての課題について引き続き検討を重ねていく必要がある。 また来年50回の節目を迎えるため、市民ニーズを汲んだ企画を検討していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
11時32分26秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005020000	シティプロモーション推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01645	観光企画推進事業							
章	07	活力あふれにぎわいのあるまちづくり							
節	01	地域の特性を生かした産業の振興							
細節	00								
予算事業	11557	01	07	01	02	02	04	03	観光企画推進事業（商工振興費）
所属長	原山 葉子				担当者（内線）永井 達也（2253）				
根拠法令等									
事業開始年度	平成22年度	直近の改正							
改正内容									
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民及び来訪者		
目標	イベント等を活用した本市への誘客企画の実施、ホームページやポスターによる魅力ある情報発信を通じて広域からの誘客を図る		
結果	本市への誘客を実現し、地域経済の活性化が図られる		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 本市の都市魅力を市内外に発信し、広域からの集客を市内回遊につなげる事業の実施 観光情報誌やホームページ、ポスター等を活用した情報発信 阪急電鉄株式会社と連携した「阪急観光あるき」への参画 		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	一般社団法人吹田にぎわい観光協会
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	都市魅力の発信
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	9,068	9,050	11,551	11,527	11,581
人件費職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	2.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	8,170	7,900	8,052	8,052	15,890
総事業費(A+B)	17,238	16,950	19,603	19,579	27,471
特定財源(C)	52	169	53	0	100
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	52	169	53	0	100
市負担(D)	17,186	16,781	19,550	19,579	27,371
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	17,186	16,781	19,550	19,579	27,371
財源計(C+D)	17,238	16,950	19,603	19,579	27,471

所属	シティプロモーション推進室
事務事業番号	01645

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	情報発信プラザ等を活用した本市の特性をPRするフェア等の実施	回	目標値	10.00	12.00	12.00
			実績値	11.00	12.00	
			達成度(%)	110.00	100.00	
目標値の積算方法	前年度開催数以上 (EXPOCITY内広場でのフェア含む)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,540.91	1,631.58	
			一般財源(千円)	1,525.55	1,631.58	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	行政と様々な事業者が相互にメリットを享受できるような連携を図りながら観光施策の展開を図っている。	目標	本市の魅力を効果的に発信し、観光施策の担い手の拡充を図り、市内外からの交流人口の拡大により、地域経済の活性化につなげる。
成果内容	吹田にぎわい観光協会と鉄道事業者との連携により、情報発信プラザでのフェアの実施や、沿線各駅でのポスター掲示、8万人規模の集客を実現している万博鉄道まつりの実施につなげている。	達成状況	万博鉄道まつりの実施により、年々来場者数が増加してきている。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	Panasonic Stadium SuitaとEXPOCITYの開業や平成30年3月には48年ぶりに太陽の塔の内部公開が始まるなど、本市の交流人口が大幅に増加しており、市内回遊の促進による地域経済の活性化の観点から、観光施策の重要性は非常に高いと考えられる。 また、観光施策は様々な事業者と連携することで、より大きな成果を得ることが可能であることから、今後もまち案内人や吹田にぎわい観光協会、市内各種事業者をはじめ、大阪府や北摂都市間の連携を図りながら、事業を展開していく必要がある。

事務事業分析シート

所属名	シティプロモーション推進室	事業名	観光企画推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	01645				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	84	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
	a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点

所属名	シティプロモーション推進室	事務事業番号	01645
-----	---------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済振興室や広報課をはじめとする庁内他部署との連携を深めることで、活動成果の拡大を図っている。 ・まち案内人事業や情報発信プラザ事業の展開により、相乗効果をもたらすことができるように努めている。 ・EXPOCITYでの広場を使用したイベントで都市魅力の発信に努めている。
--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本市における観光施策は「ビールと操車場のまち」・「千里ニュータウンと万博のまち」・「ガンバ大阪のあるまち」・「大学のあるまち」・「鉄道のあるまち」といった地域の特性を活かしたものであり、迅速かつ柔軟な対応が可能となるよう、本市と目的を同じとする吹田にぎわい観光協会へ事業委託の形態で実施している。</p> <p>Panasonic Stadium SuitaとEXPOCITYの開業や平成30年3月には48年ぶりに太陽の塔公開が始まるなど、本市の交流人口が大幅に増加し、本市が持つ都市魅力を効果的に発信することの重要性は更に高まり、本事業が果たす役割は非常に大きいものと考えられる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

<p>国による平成28年3月策定の「明日の日本を支える観光ビジョン」や行動計画として「観光ビジョン実現プログラム2017」を平成29年5月に策定するなど、観光施策を成長戦略と地方創生の大きな柱として位置付けており、大阪府においても来訪者数や宿泊者数の増加による経済効果と地域の活性化を目指していることから、観光に関する施策は非常に重要なものとされている。</p> <p>本市においても、Panasonic Stadium SuitaやEXPOCITYの開業や平成30年3月には48年ぶりに太陽の塔の内部公開が始まり、広域からの交流人口が大幅に増加している中で、吹田にぎわい観光協会や吹田まち案内人をはじめとする民間団体や北摂近隣市とのこれまで以上の連携強化に努め、北摂ブランドを発信していく必要がある。</p>

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
11時33分09秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005020000	シティプロモーション推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01646	情報発信プラザ事業							
章	07	活力あふれにぎわいのあるまちづくり							
節	01	地域の特性を生かした産業の振興							
細節	00								
予算事業	11714	01	07	01	02	02	04	04	情報発信プラザ事業（商工振興費）
所属長	原山 葉子				担当者（内線）永井 達也（2253）				
根拠法令等	吹田市情報発信プラザ規則								
事業開始年度	平成28年度	直近の改正							
改正内容									
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	吹田市情報発信プラザ、市民及び来訪者		
目標	市民及び来訪者への観光情報をはじめとした都市魅力の発信		
結果	都市魅力の発信により、市内回遊が促進される		
事業概要	吹田市情報発信プラザの管理運営 【平成28年度、観光センター事業から名称変更】		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	一般社団法人吹田にぎわい観光協会
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	吹田市情報発信プラザの管理運営
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	17,426	16,873	17,615	17,313	17,816
人件費職員数(人)	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	3,268	3,160	3,221	3,221	3,178
総事業費(A+B)	20,694	20,033	20,836	20,534	20,994
特定財源(C)	123	79	102	0	210
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	123	79	102	0	210
市負担(D)	20,571	19,954	20,734	20,534	20,784
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	20,571	19,954	20,734	20,534	20,784
財源計(C+D)	20,694	20,033	20,836	20,534	20,994

所属	シティプロモーション推進室
事務事業番号	01646

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	情報発信プラザの来訪者数	人	目標値	210,562.00	268,660.00	415,162.00
			実績値	255,867.00	395,393.00	
			達成度(%)	121.50	147.20	
目標値の積算方法	前年度実績の5%増	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.08	0.05	
			一般財源(千円)	0.08	0.05	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	情報発信プラザにおける市内観光施設、スポット等の案内	目標	本市の観光施設の認知度を高め、市内回遊の促進を図る
成果内容	情報発信プラザで得た情報をもとに、市内観光施設、スポット等の回遊が促進される	達成状況	鉄道各社との連携による車両基地の見学や国立民族学博物館と連携し、各施設を訪問するスタンプラリーイベントを実施している

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	全国的に注目度の高い大型複合施設であるEXPOCITY内を本市の情報発信拠点としていることで、市内外の来訪者へ本市が持つ様々な都市魅力を発信できている。今後も様々な事業者や北摂各市と連携を深めることで、更なる展示内容の充実を図り、市内回遊の促進と北摂ブランドの発信につなげていく。また、他の公共施設と大きく異なる点として大型商業施設内に設置されていることから、より一層、来訪者のニーズ把握と満足度の向上に努める必要がある。

事務事業分析シート

所属名	シティプロモーション推進室	事業名	情報発信プラザ事業	事業区分	その他
事務事業番号	01646				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	シティプロモーション推進室	事務事業番号	01646
-----	---------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

JR吹田駅前に設置していた観光センターと比較して、施設賃借料や光熱費等の負担及び開設時間の延長による人件費が増加しているが来訪者数も増加しており大きな効果が得られていると考えている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>情報発信プラザの来訪者数はJR吹田駅前の観光センターと比較して大幅に増加しており、幅広い年齢層が訪れている。 本市の都市魅力を発信する拠点として、更なる展示内容の充実や接客スタッフのスキル向上に努める必要があると考えられる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月22日
10時20分13秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005020000	シティプロモーション推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01777	シティプロモーション事業							
章	07	活力あふれにぎわいのあるまちづくり							
節	00								
細節	00								
予算事業	11768	01	02	01	41	02	01	01	シティプロモーション事業（シティプロモーション費）
所属長	原山 葉子				担当者（内線）白澤 耕一郎（2601）				
根拠法令等									
事業開始年度	平成28年度	直近の改正							
改正内容									
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民全体		
目標	本市に対する愛着や誇りが醸成され、市民から市の魅力が広がる状態を目指す		
結果	市民に「住み続けたい」「離れても戻りたい」という思いが醸成され、定住意向が高まる		
事業概要	持続的なまちの発展のために、本市が持つ魅力を積極的に発掘・発信し、本市のイメージを向上させ、本市に対する愛着や誇りが醸成される取組を実施する		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	6,632	6,239	4,174	4,098	8,199
人件費職員数(人)	3.00	3.50	3.00	3.50	5.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	24,510	27,650	24,156	27,381	39,725
総事業費(A+B)	31,142	33,889	28,330	31,479	47,924
特定財源(C)	0	0	1,480	2,061	6,400
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	1,480	2,061	6,400
市負担(D)	31,142	33,889	26,850	29,418	41,524
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	31,142	33,889	26,850	29,418	41,524
財源計(C+D)	31,142	33,889	28,330	31,479	47,924

所属	シティプロモーション推進室
事務事業番号	01777

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	すいたんSNS発信回数	回	目標値	243.00	245.00	246.00
			実績値	255.00	182.00	
			達成度(%)	104.90	74.30	
目標値の積算方法	土日祝日・年末年始を除く毎日発信	単位当たりコスト	総事業費(千円)	132.90	172.96	
			一般財源(千円)	132.90	161.64	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	すいたん着ぐるみ貸出回数及びデザイン使用回数	回	目標値	335.00	374.00	420.00
			実績値	340.00	382.00	
			達成度(%)	101.50	102.10	
目標値の積算方法	前年度実績の10%増	単位当たりコスト	総事業費(千円)	99.67	82.41	
			一般財源(千円)	99.67	77.01	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	すいたんツイッターフォロワー数	件	目標値	0.00	8,800.00	9,182.00
			実績値	8,000.00	8,348.00	
			達成度(%)	0.00	94.90	
目標値の積算方法	前年度実績の10%増	単位当たりコスト	総事業費(千円)	4.24	3.77	
			一般財源(千円)	4.24	3.52	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示するのが困難な場合

活動内容	本市が持つ魅力を積極的に発掘、発信し、本市のイメージを向上させる取組を実施する	目標	平成30年度の市民意識調査で定住意向70%以上を実現する(平成26年度調査では57.8%)
成果内容	市への愛着や誇りが醸成され、「住み続けたい」「離れても戻りたい」という思いが育まれる	達成状況	市民から市の魅力が広く発信される

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	■ 拡充 □ 継続 □ 縮小 □ 廃止 □ 終期の設定		
評価の説明	平成29年度には各室課と連携した様々な取組を実施し、市民に市への愛着や誇りを醸成するきっかけづくりにつながることができた。(取組例は現状分析欄に記載) 本事業はシティプロモーション推進室だけでなく、全庁的に取り組む体制と、職員一人ひとりのシティプロモーションに関する意識の向上が重要となる。 今後も本市の強みを生かした様々な手法によるシティプロモーションを推進していく必要があり、グッズ販売等による財源の一部確保も積極的に検討・実施していく。		

事務事業分析シート

所属名	シティプロモーション推進室	事業名	シティプロモーション事業	事業区分	その他
事務事業番号	01777				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(6点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	96	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	シティプロモーション推進室	事務事業番号	01777
-----	---------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

本事業の成果については、当室だけでなく、各室課の取組による部分も大きいため、全庁的な連携のもとでシティプロモーションを推進する機運の醸成が重要となる。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本市のシティプロモーションは市外からの移住促進を主たる目的とせず、市民全体をターゲットとして、市に対する誇りや愛着を醸成する取組を実施するものとしている。 平成29年度には庁内関係部署と連携し、オリジナル婚姻届や職員名札ストラップの作成、正面玄関フォトスペースの設置のほか、すいたんマスコット、オリジナル年賀はがき、ピンバッジ等のプロモーショングッズの作成によりシティプロモーションの推進を図ることができた。 また、シティプロモーション提案プロジェクト「enZINE(エンジン)」として若手職員を中心とするクロスファンクショナルチームを組織し、部局横断的に柔軟な発想を生かした企画が実現できている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

全国的に多くの自治体が様々な手法でシティプロモーションに取り組んでおり、本市が持つ様々な強みを生かした施策を展開していく必要がある。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
11時34分15秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005020000	シティプロモーション推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01778	「地方の時代」映像祭支援事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	04	多彩な文化が交流するまちづくり							
細節	10	文化の振興							
予算事業	11786	01	02	01	41	03	01	01	「地方の時代」映像祭支援事業（シティプロモーション費）
所属長	原山 葉子				担当者（内線）白澤 耕一郎（2601）				
根拠法令等	「地方の時代」映像祭支援事業								
事業開始年度	平成22年度	直近の改正	なし						
改正内容									
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民及び来場者		
目標	質の高い映像芸術に身近に触れる機会を提供することで、市民の文化への理解の高まりを目指すとともに、全国規模の祭典を本市において開催することで、シティプロモーションの推進を図る。		
結果	市民が文化への理解を深めることで新たな都市魅力の創造が期待される。また全国規模では唯一のドキュメンタリー映像祭典が本市で開催されることは、本市の名を全国に広めるとともに、市民としての誇りを育むことも期		
事業概要	放送局や市民、自治体、ケーブルテレビ、高校・大学生が作成した映像を募る、全国規模で唯一のドキュメンタリー映像の祭典であり、本市は関西大学、日本放送協会、日本民間放送連盟、ケーブルテレビ連盟とともに主催者として参加している。例年6月に市内公共施設でプレフォーラムを、11月には関西大学千里山キャンパスで本祭を開催し、市民が身近に映像芸術に触れられる機会を提供している。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①		「地方の時代」映像祭実行委員会	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	1,580	1,611	1,611	1,589
総事業費(A+B)	2,634	2,580	2,611	2,611	2,589
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	2,634	2,580	2,611	2,611	2,589
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,634	2,580	2,611	2,611	2,589
財源計(C+D)	2,634	2,580	2,611	2,611	2,589

所屬	シティプロモーション推進室
事務事業番号	01778

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	テレビ、新聞等のメディア登場回数	回	目標値	57.00	61.00	61.00
			実績値	61.00	61.00	
			達成度(%)	107.00	100.00	
目標値の積算方法	前年度実績数値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	42.30	42.80	
			一般財源(千円)	42.30	42.80	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	映像祭コンクール出展作品数	作品	目標値	294.00	325.00	287.00
			実績値	325.00	287.00	
			達成度(%)	110.50	88.30	
目標値の積算方法	前年度実績数値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	7.94	9.10	
			一般財源(千円)	7.94	9.10	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	映像祭来場者数	人	目標値	3,416.00	3,500.00	3,719.00
			実績値	3,598.00	3,731.00	
			達成度(%)	105.30	106.60	
目標値の積算方法	過去3年の平均来場者数×開催日数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.72	0.70	
			一般財源(千円)	0.72	0.70	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	映像祭プレ企画連続フォーラム来場者数	人	目標値	375.00	330.00	349.00
			実績値	315.00	401.00	
			達成度(%)	84.00	121.50	
目標値の積算方法	過去3年の平均来場者数×開催日数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	8.19	6.51	
			一般財源(千円)	8.19	6.51	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	本映像祭はテレビや新聞等でも度々取り上げられるなど全国的に知られている祭典である。全国から優れたドキュメンタリー映像作品が集まることから、市民が質の高い文化芸術に触れられる機会となっている。また、プレフォーラムは出演者と観客との距離が近く、映像芸術に対する親しみや関心を高める機会となっている。このようなイベントが本市で開催されることは市民としての誇りや、市への愛着の醸成に寄与するものと考えられることからその重要性は高い。今後とも主催者間で連携を図りながら、市民が本映像祭への関心を高める方法を検討していく。

事務事業分析シート

所属名	シティプロモーション推進室	事業名	地方の時代映像祭支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	01778				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	シティプロモーション推進室	事務事業番号	01778
-----	---------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析			

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

全国規模で唯一のドキュメンタリー映像の祭典として多くの作品応募があり、毎年11月に関西大学千里山キャンパスで開催されるイベントには、全国から多くの方々が来場し、メディアからの注目度も高まっている。また、プロ企画にも毎年多くの方々に来場いただいております。固定のファンも定着するようになっている。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月10日
09時27分28秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0005020000	シティプロモーション推進室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01779	大学のあるまちづくり事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	04	多彩な文化が交流するまちづくり		
細節	20	文化を育む環境づくり		
予算事業	11787	01	02	01 41 04 01 01 大学のあるまちづくり事業（シティプロモーション費）
所属長	原山 葉子	担当者（内線）四方 将浩（2604）		
根拠法令等	各大学・研究機関と吹田市との連携協力に関する基本協定書、吹田市・大学・研究機関連携協議会設置要領			
事業開始年度	平成17年度	直近の改正	平成28年度	
改正内容	事業担当室課の変更に伴い、吹田市・大学・研究機関連携協議会設置要領を改定。			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	市民、事業者、大学・研究機関（学生）		
目標	本市に所在する各大学・研究機関との連携を図ることにより、これらによるネットワークを推進する。		
結果	市民や学生の地域への関心・愛着を深める。		
事業概要	市内の大学および大学教育機能をもつ研究機関（国立民族学博物館）と連携を図ることで、各機関が有する豊富な知的財産、人材、情報力、施設などをまちづくりの各般で生かし、双方の発展に寄与する取組を進める。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	30	0	8	7	8
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	4,026	3,912	3,973
総事業費(A+B)	4,115	3,950	4,034	3,919	3,981
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	4,115	3,950	4,034	3,919	3,981
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,115	3,950	4,034	3,919	3,981
財源計(C+D)	4,115	3,950	4,034	3,919	3,981

所属	シティプロモーション推進室
事務事業番号	01779

2頁
平成30年 8月10日
09時27分28秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	大学との連携推進協議会の開催	回	目標値	10.00	10.00	10.00
			実績値	8.00	8.00	
			達成度(%)	80.00	80.00	
目標値の積算方法	各大学との連携協議会における覚書に基づき、年2回ずつ開催	単位当たりコスト	総事業費(千円)	493.75	489.88	
			一般財源(千円)	493.75	489.88	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	各大学講義への職員講師派遣回数	回	目標値	30.00	33.00	27.00
			実績値	33.00	27.00	
			達成度(%)	110.00	81.80	
目標値の積算方法	前年度実績(関西大学14回、大阪学院大学13回)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	119.70	145.15	
			一般財源(千円)	119.70	145.15	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	大学教員等の本市審議会等への参画状況(市外大学含む)	件	目標値	0.00	153.00	166.00
			実績値	153.00	166.00	
			達成度(%)	0.00	108.50	
目標値の積算方法	前年度実績値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	25.82	23.61	
			一般財源(千円)	25.82	23.61	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
大学・研究機関と吹田市との双方発展のために取り組んでおり、協議会にて連携を深め、成果として、講義等で吹田市の情報提供、啓発を行うほか、大学からのアプローチを各室課に繋げている。	達成状況 吹田市と大学との連携により学生が地域に関わる機会を作ることで、市への愛着を深め、地域貢献にもつながっている。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>関西大学、大阪学院大学、千里金蘭大学、大和大学との連携推進協議会は、予定どおり実施することができた。様々な意見交換や情報提供を通じ、相互の連携体制の強化に資する取組となっており、その他の大学との連携体制についても考慮する必要があると考えられる。</p> <p>市職員が講師を務める大学講義では、啓発や本市への理解を広めることにより、吹田まつり学生会や、その他イベントへのボランティアスタッフとしての参加があるなど、市政参画への関心・意欲向上に関して一定の効果を上げている。</p> <p>平成29年度は大阪学院大学で受講者数の少なかったキャリアデザインIIが一部廃止となり、公務員入門の講義が追加となったことで参加人数が約200名増加し、多くの学生に本市との関わりを増やすことができた。また、共同研究の実施、教員による市民公開講座の開講、大学施設の借用、そのほか、大学からのオファーに対して、広報活動の協力、実習生の受け入れ、研究場所の提供など様々なシーンでの連携を進めている。</p>

事務事業分析シート

2018/6/411:36

所属名	シティプロモーション推進室	事業名	大学のあるまちづくり事業	事業区分	その他
事務事業番号	01779				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	92	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	シティプロモーション推進室	事務事業番号	01779
-----	---------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本市には5大学1研究機関が立地し、名実ともに「大学のあるまち」となっている。各大学・研究機関が有する知的・人的・物的資源や学生の活力は、行政課題の解決や地域の活性化に大きく貢献するなど、まちづくりには欠かすことができない要素となっており、ひいては本市のブランド力をけん引する力を持つものとなっている。平成29年度は連携推進協議会をはじめ、共同研究の実施、職員による授業の講師派遣、行政が抱える課題解決型の授業の実施等、様々な場面で連携することができた。</p> <p>一方で、まだネットワークの構築に至っていない大学もあるため、「大学のあるまち」として、双方の発展につなげることを目標に据え、引き続き連携強化に向けた検討を進めていく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)